

情報の入手

気象庁が発表する注意報・警報

種類	発表の時期
大雨注意報	大雨によって、災害が起こるおそれがある場合。
大雨警報	大雨によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。
洪水注意報	洪水によって、災害が起こるおそれがある場合。
洪水警報	洪水によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や温帯低気圧により大雨になると予想される場合。
記録的短時間大雨情報	大雨警報が発表されているときに、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測または解析した場合。 ※さいたま市の場合は1時間の雨量が100mm以上

※大雨と洪水の注意報・警報の発表基準は平成29年7月に見直され、大雨警報(浸水害)・大雨注意報の発表基準に「表面雨量指数」が導入されました。また、洪水警報・注意報の発表基準に導入されている「流域雨量指数」は精緻化されました。大雨と洪水の注意報・警報に適用される発表基準や各雨量指数の基準値に関しては、気象庁ホームページをご確認ください。

最新の注意報・警報を入手

「いつもより強い雨だ」と感じたら、注意報や警報が「発表されている」のか「発表されていない」のかを、すぐに確認しましょう。

■気象庁ホームページ

気象警報・注意報へのアクセス方法(※)

ホーム(トップページ)で「天気」のタブ(水色)を選択。

「主なコンテンツ」の「気象警報・注意報」を選択。

全国地図から「埼玉県」の地図を選択。

警報・注意報の発表一覧表(市町村単位)が表示される。一覧表から「さいたま市」を選択。

現在の警報・注意報の発表状況が表示される。警報・注意報が発表中の場合、今後の予想も表示される。

※パソコン、スマートフォン、どちらも同じ方法でアクセスできます。



※気象庁関係資料「気象警報・注意報をより見やすく」より分かりやすくし、より一部抜粋して作成

■テレビで入手

リモコンの「dボタン」を押すとデータ放送画面が表示されます。次に、気象情報のメニューに応じたリモコンのカラーボタン(4色ボタン)を押します。

■スマートフォンで入手

Yahoo! JAPAN 防災速報 あらかじめアプリをインストールしておくことで、気象警報や地震情報などが確認・通知されます。

※すべてのサービスを利用するためには、Yahoo! JAPAN IDの登録が必要です。

ダウンロード先の二次元コード→



気象情報

●雨の強さと降り方の目安

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

予報用語(1時間雨量)	やや強い雨(10~20mm)	強い雨(20~30mm)	激しい雨(30~50mm)	非常に激しい雨(50~80mm)	猛烈な雨(80mm以上)
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車に乗っている		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(※)	車の運転は危険 ※ハイドロプレーニング現象	

災害時に備える防災知識をインターネットやアプリで入手

■さいたま市ホームページ [パソコン] <http://www.city.saitama.jp/index.html>

■国土交通省(リアルタイム)川の防災情報 [パソコン] <http://www.river.go.jp/>
[携帯電話] <http://i.river.go.jp/>

■気象庁ホームページ [パソコン] <http://www.jma.go.jp/>

■荒川上流河川事務所 [パソコン] <http://www.ktr.mlit.go.jp/araajo/>

■水位情報システム <http://www.flood-info.city.saitama.jp/JP/>

■Yahoo!天気・災害アプリ(※) 河川状況ライブカメラ画像(アプリ内の河川状況から見ることもできます)



川の防災情報 二次元コード